

2018年漁業センサス試行調査調査票（案）

1	海面漁業調査	漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）・・・・・・・・・・	1
2	〃	漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）・・・・・・・・・・	9
3	〃	海面漁業地域調査票・・・・・・・・・・	17
4	内水面漁業調査	内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）・・・・・・・・	21
5	〃	内水面漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）・・・・・・・・	31
6	〃	内水面漁業地域調査票・・・・・・・・・・	39
7	流通加工調査	魚市場調査票・・・・・・・・・・	45
8	〃	冷凍・冷蔵、水産加工場調査票・・・・・・・・・・	47

2018年漁業センサス試行調査

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅰ（案） （個人経営体用）

平成29年7月1日調査



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、来年11月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

【統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。
---	--

《市町村連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

経営組織コード

大海区 都府県（振興局） 市区町村 漁業地区 調査区 漁業集落 客体番号

- 1: 共同経営に参加
- 2: 共同経営に不参加

大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号	経営組織コード

市区町村名

漁業地区名

漁業集落名

I 世帯について

1 世帯員すべての人数

7月1日現在の世帯員の人数を記入してください。

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ
右に詰めて記入してください。

単位：人

すべての世帯員
うち、満15歳以上の世帯員

変更（満14歳以下）

男	701			
女	702			

2 世帯としての専業・兼業

(1) 当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

711	自家漁業専業	兼業	
		自家漁業主が	他が主
	1	2	3

兼業の場合

兼業の場合は、過去1年間（平成28年7月1日～平成29年6月30日）の収入が多い方を「主」としてください。

3 世帯員について

満15歳以上の世帯員（平成14年6月30日までに生まれた人）について記入してください。

変更（過去1年間に漁業を行った人）

続柄番号

- 01：経営主
- 02：経営主の配偶者
- 03：子（満15歳以上）
- 04：子の配偶者
- 05：経営主の父母
- 06：経営主の配偶者の父母
- 07：兄弟姉妹
- 08：祖父母
- 09：孫（15歳以上）
- 10：孫の配偶者
- 11：その他（上記以外）

過去1年間の仕事の状況

1 自家漁業	2 自家漁業以外の自営業	3 共同経営の漁業の仕事	4 雇われて漁業の仕事	5 雇われて漁業以外の仕事	6 その他（家事・育児・学生・高齢や病気で仕事をしなかったなど）
④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

左の1～5に該当する人で

日数が最も多い仕事	日数が多い方
⑩	⑪
下の当てはまる番号を記入	いずれかに○印

	経営主との続柄		性別		出生の年月 該当する元号の番号に○印をつけ、 出生の年月を記入してください。							④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪								
続柄番号 を記入	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪								
731	0	1	1 2	1 2 3 4														1 2	
732			1 2	1 2 3 4														1 2	
733			1 2	1 2 3 4														1 2	
734			1 2	1 2 3 4														1 2	
735			1 2	1 2 3 4														1 2	
736			1 2	1 2 3 4														1 2	
737			1 2	1 2 3 4														1 2	
738			1 2	1 2 3 4														1 2	

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

変更（年齢階層別）

⑩日数が最も多い仕事

新規

- 1：自家漁業
- 2：自家漁業以外の自営業
- 3：共同経営の漁業の仕事
- 4：雇われて漁業の仕事
- 5：雇われて漁業以外の仕事

(2) 過去1年間に行った漁業以外の自営業について、
当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

自 営 業				
水 産	民 宿	遊 船	漁 業	その他
加 工				
712	1	2	3	4

削除（勤め）

(3) 過去1年間の延べ利用者数を
記入してください。

単位：人

民 宿	713				
遊漁船業	714				

6 ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

過去1年間の自家漁業について										過去1年以内に漁業を始めた人		うち、今年3月に学校を卒業した人		経営主とともに経営方針の決定に関わっている		経営の後継者である（予定者を含む）	
自家漁業の従事日数 （自家漁業の陸上作業を含みます。）	うち、自家漁業の海上作業日数	自家漁業の海上作業日数が最も多かった漁業種類	⑭の漁業種で使った漁船の大きさ			6月下旬に行った自家漁業の海上作業	⑮の漁業種にいずれかに○印	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳					
			漁船非使用	10トン未満	10トン以上												
⑫	⑬	⑭	⑮			⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒					
(日)	(日)	全国漁業種類番号を記入	いずれかに○印			当てはまる人に○印						該当する一人に○印					
		1	1	2	3												
		1	1	2	3												
		1	1	2	3												
		1	1	2	3												
		1	1	2	3												
		1	1	2	3												
		1	1	2	3												
		1	1	2	3												

※過去1年間でいずれかの決定に参画した方（経営主を除く）に記入してください。
○漁業種類・養殖種類の選定・規模
○出荷先の決定
○資金調達
○機械・施設などへの投資
○雇用の決定・管理

後継者とは、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
調査日現在で自家漁業を行っていないかまいません。

世帯内に後継者がいない場合

4 世帯から離れて住んでいる漁業経営の後継者（満15歳以上）がいますか。

	い	い
	る	ない
721	1	2

新規

※ 海上作業日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含みません。

新規 変更
（自家漁業の後継者の有無）

II 自家漁業に雇った人

1 過去1年間に雇った人数

ここでは2ページの世帯員ではなく
「雇った人数」を記入してください。

過去1年間に自家漁業（陸上作業を含む。）のために雇った実人数を記入してください。

		男（人）	女（人）
計（実人数）	201		
うち、臨時労働者	202		

臨時労働者とは、雇用者（賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人）のうち、雇用契約期間が1ヶ月未満の人をいいます。

新規

2 7月1日現在の海上作業に雇った人数

- (1) 7月1日現在の海上作業に雇った人数を記入してください。
- (2) (1)の日本人のうち、過去1年間（平成28年7月1日～平成29年6月30日の間）に30日以上海上作業を行った人数を記入してください。

【日本人】 単位：人

日本人計 (7月1日現在の海上作業に雇った人)	計	211		
	うち、漁家子弟	212		
	うち、過去1年以内に漁業を始めた人	213		
	同市町村	214		
日本人雇用者の居住地	その他県内	215		
	県外	216		

新規

【外国人】 単位：人

外国人計 (7月1日現在の海上作業に雇った人)	217		
----------------------------	-----	--	--

漁家子弟とは、親が漁業に従事する人で、過去1年間に海上作業に30日以上従事した人をいいます。

3 陸上作業に雇った人数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最もさかんな時期に雇った人数を記入してください。

単位：人

計	241		
男	242		
女	243		

		30日以上海上作業を行った人数		うち、居住地が同一市町村	
		男（人）	女（人）	男（人）	女（人）
計	221				
15～19歳	222				
20～24歳	223				
25～29歳	224				
30～34歳	225				
35～39歳	226				
40～44歳	227				
45～49歳	228				
50～54歳	229				
55～59歳	230				
60～64歳	231				
65～69歳	232				
70～74歳	233				
75歳以上	234				

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する人です。

- ・新たに漁業始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。）
- ・他の仕事为主であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）
- ・普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった人（学生等）

Ⅲ 漁船

1 過去1年間に漁業に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。(借りた漁船を含みます。)

	漁船非使用	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3	4

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

漁業に使用した漁船のうち、平成29年7月1日現在で持っている隻数を記入してください。(借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)

単位：隻

無動力漁船	302	
船外機付漁船	303	

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船としてください。

漁船非使用に○印を付けた場合は次のページへ進んでください。

平成29年7月1日現在において所有、借入れに関係なく、漁業経営体が管理運営している漁船については、「持っている」に○印を付けてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力漁船 (借りた漁船を含みます。)					平成29年7月1日現在で 持っている動力漁船				
	総トン数 (小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。)					7月1日現在で		過去1年間の 出漁日数	販売金額が 最も多かった 漁業種類	
						持っている	持っていない			
	①	②		③	④					
	万	千	百	十	小数点 (トン) ↓	いずれかに ○印		(日)	全国漁業種類 番号を記入	
401					.	1	2		1	
402					.	1	2		1	
403					.	1	2		1	
404					.	1	2		1	
405					.	1	2		1	
406					.	1	2		1	
407					.	1	2		1	
408					.	1	2		1	
409					.	1	2		1	
410					.	1	2		1	

借りている漁船は含み、貸している漁船は含みません。

6ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

※ 出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含みません。

IV 漁業経営について

1 営んだ漁業種類

(1) 過去1年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類について○をつけてください。

《 網 漁 業 》

全国漁業種類番号

底びき網	遠洋底びき網	101	
	以西底びき網	102	
	沖合底びき網	103	
	1 そうびき	104	
	2 そうびき	105	
小型底びき網		106	
船びき網		107	
まき網	1 そうまき遠洋かつお・まぐろ	108	
	1 そうまき近海かつお・まぐろ	109	
	1 そうまきその他	110	
	2 そうまき	111	
	中・小型まき網	112	
刺網	さけ・ます流し網	113	
	かじき等流し網	114	
	その他の刺し網	115	
さんま棒受網		116	
大型定置網		117	
さけ定置網		118	
小型定置網		119	
その他の網漁業		120	

す営べんだも印の

《 はえ縄・釣り・その他漁業 》

全国漁業種類番号

はえ縄	遠洋まぐろはえ縄	121	
	近海まぐろはえ縄	122	
	沿岸まぐろはえ縄	123	
	その他のはえ縄	124	
釣	遠洋かつお一本釣	125	
	近海かつお一本釣	126	
	沿岸かつお一本釣	127	
	遠洋いか釣	128	
	近海いか釣	129	
	沿岸いか釣	130	
	ひき縄釣	131	
	その他の釣	132	
小型捕鯨		133	
潜水器漁業		134	
採貝・採藻		135	
その他の漁業		136	

す営べんだも印の

《 海面養殖 (種苗養殖含む) 》

全国漁業種類番号

魚類養殖	ぎんざけ養殖	137	
	ぶり類養殖	138	
	まだい養殖	139	
	ひらめ養殖	140	
	とらふぐ養殖	141	
	くろまぐろ養殖	142	
	にじます養殖	143	
	その他の魚類養殖	144	
	ほたてがい養殖	145	
	かき類養殖	146	
その他の貝類養殖		147	
くるまえび養殖		148	
ほや類養殖		149	
その他の水産動物類養殖		150	
こんぶ類養殖		151	
わかめ類養殖		152	
のり類養殖		153	
その他の海藻類養殖		154	
真珠養殖		155	
真珠母貝養殖		156	

す営べんだも印の

2 ページの3「世帯について」及び5 ページの3「動力漁船」については、本ページの「全国漁業種類番号」を使用してください。

(2) 過去1年間に自家漁業で行ったすべての漁業種類のうち、販売金額が最も多かったものと、2番目に多かったものを上記(1)の全国漁業種類番号 101 ~ 155 から選んで記入してください。

年間販売金額第1位の類	161		年間販売金額第2位の類	162	
-------------	-----	--	-------------	-----	--

3 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、自家漁業で行ったすべての漁業種類について○をつけてください。

地方選定漁業種類		に該 ○印
種類名	番号	

地方選定漁業種類		に該 ○印
種類名	番号	

地方選定漁業種類		に該 ○印
種類名	番号	

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

養殖を行っていない場合は、「うち、海面養殖」の販売金額なしを○で囲んでください。

販売金額なし	100万円未満	100万円未満	300万円未満	300万円未満	500万円未満	500万円未満	800万円未満	800万円未満	1,000万円未満	1,000万円未満	1,500万円未満	1,500万円未満	2,000万円未満	2,000万円未満	5,000万円未満	5,000万円未満	1億円未満	1億円未満	2億円未満	2億円未満	5億円未満	5億円未満	10億円以上	
販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	583								
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	584								

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

単位：億円

583																								
584																								

新規

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先を○で囲んでください。そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つを○で囲んでください。

出荷先	番号	漁業協同組合の市場又は荷さばき所	漁業協同組合以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	うち、自家店舗	うち、漁家レストラン	その他
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
出荷先	591	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
最も多い出荷先	592	1	2	3	4	5	6	7			10

新規

6 漁業生産に関連した事業で、複数世帯で実施する事業がある場合は、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	水産加工業	民宿	水産物販売店舗	漁家レストラン
601	1	2	3	4

新規

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：
電話番号：

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

2018年漁業センサス試行調査

海面漁業調査

漁業経営体調査票Ⅱ（案） （団体経営体用）

平成29年7月1日調査



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、来年11月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

【統計調査員】	月 日（ ）
氏 名：	午前・午後 時ごろに
電話番号：	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

《市町村連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (振興局)	市区町村	漁業地区	調査区	漁業集落	客体番号	
市区町村名	漁業地区名		漁業集落名		代表者氏名		

経営組織コード

- 3: 会社
- 4: 漁業協同組合
- 5: 漁業生産組合
- 6: 共同経営
- 7: その他

- ☐ 「会社」の方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～8 ページ
- ☐ 「共同経営」の方・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～7 ページ
- ☐ 「漁業協同組合」「漁業生産組合」「その他」・・・・・・ 2～7 ページ

- 1 法人化していますか。
該当に☑を入れてください。

法人でない ☐
法人である ☐

法人番号を活用した統計の精度向上
及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

- 2 法人の方は、法人番号（13桁）
の記入をお願いします。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

会社、共同経営体以外の方は次のページへ

新規

会-I 事業所の概要

- 1 本所・支所の区分と会社の種類

それぞれ当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	本所・支所の区分			会社の種類	
	単独事業所	本所・本社	支所・支社	株式	その他
801	1	2	3	1	2

特例有限会社（旧制度の有限会社を含む。）は、株式会社に含みます。

- 2 11月1日現在の従業員数

漁業と漁業以外も含めたすべての従業員数を記入してください。

（ 本所・本社の場合は、支社・支所を含めた従業員数ではなく、本所・本社のみ従業員数を記入してください。 ）

単位：人

802				
-----	--	--	--	--

数字は、算用数字で
1マスに1字ずつ**右に**
詰めて記入してください。

次のページへ

共-I 共同経営について

共同経営とは、2経営体（法人を含みます。）以上で、漁船、漁網等の主要生産手段を共有し、共同で漁業経営を行うことをいいます。

- 1 出資金

現物出資を除く出資金について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	現物出資なし又は	10万円未満	10万円未満	30万円未満	50万円未満	100万円未満	200万円未満	500万円未満	1,000万円未満	3,000万円以上
	は	未	未	未	未	未	未	未	未	上
831	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

現物出資とは、漁船や漁網などの持ち寄りをいいます。

- 2 出資者の人数

出資金を出資した人と現物出資をした人の合計の人数を記入してください。

単位：人

832				
-----	--	--	--	--

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ**右に詰めて記入**してください。

次のページへ

I 漁業の従事者

1 漁業の従事者数

(1) 過去1年間に漁業（陸上作業を含む。）に従事した実人数を記入してください。

		男（人）	女（人）
経営者・役員等	203		
雇 用 者	201		
うち、 臨時労働者	202		

経営者・役員等とは、会社等における経営の責任者や役員、漁業生産組合や共同経営における構成員等のうち、過去1年間に漁業に従事した方をいいます。
漁業経営に出資のみを行い、実際の仕事に従事しなかった者は含めません。

雇用者とは、漁業のために雇った人で、賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人をいいます。

臨時労働者とは、雇用者のうち、雇用契約期間が1ヶ月未満の人をいいます。

新規

2 7月1日現在の海上作業の従事者数

- (1) 7月1日現在の海上作業の従事者数を記入してください。
- (2) (1)の日本人のうち、過去1年間（平成28年7月1日～平成29年6月30日の間）に30日以上海上作業を行った人数を記入してください。

【日本人】 単位：人

日 本 人 計 (7月1日現在の海上作業従事者)	211	
うち、 漁家子弟	212	
うち、過去1年以内に 漁業を始めた人	213	
日 本 人 雇 用 者 の 居 住 地		
同 市 町 村	214	
そ の 他 の 県 内	215	
県 外	216	

新規

【外国人】 単位：人

外 国 人 計 (7月1日現在の海上作業従事者)	217	
-----------------------------	-----	--

漁家子弟とは、親が漁業に従事する人で、過去1年間に海上作業に30日以上従事した人をいいます。

		30 日以上海上作業を行った人数		うち、居住地が同一市町村	
		男（人）	女（人）	男（人）	女（人）
計	221				
15～19 歳	222				
20～24 歳	223				
25～29 歳	224				
30～34 歳	225				
35～39 歳	226				
40～44 歳	227				
45～49 歳	228				
50～54 歳	229				
55～59 歳	230				
60～64 歳	231				
65～69 歳	232				
70～74 歳	233				
75 歳以上	234				

3 陸上作業の従事者数

過去1年間の漁業の陸上作業について、最盛期の従事者数を記入してください。

単位：人

計	241	
男	242	
女	243	

過去1年以内に漁業を始めた人とは、漁業で恒常的な収入を得ることを目的に主として漁業に従事した者で、以下のいずれかに該当する人です。

- ・新たに漁業始めた人（過去に漁業に従事していて、再び漁業を始めた者を含む。）
- ・他の仕事为主であったが、漁業が主となった人（他の産業に従事等）
- ・普段の状態が仕事を主としていなかったが、漁業が主になった人（学生等）

II 漁船

1 過去1年間に漁業に使用した漁船

当てはまる番号をすべて○で囲んでください。(借りた漁船を含みます。)

	漁船非使用	動力漁船	船外機付漁船	無動力漁船
301	1	2	3	4

漁船非使用に○印を付けた場合は次のページへ進んでください。

平成29年7月1日現在において所有、借入れに関係なく、漁業経営体が管理運営している漁船については、「保有している」に○印を付けてください。

2 無動力漁船と船外機付漁船の隻数

漁業に使用した漁船のうち、平成29年7月1日現在で保有している隻数を記入してください。(借りている漁船を含み、貸している漁船は含みません。)

単位：隻

無動力漁船	302	
船外機付漁船	303	

1台の船外機を複数の無動力漁船に付けて使用した場合は、1隻を船外機付漁船としてください。

3 動力漁船

【動力漁船についてのみ記入】

	過去1年間に使用した動力漁船 (借りた漁船を含みます。)					平成29年7月1日現在で 保有している動力漁船			
	総トン数 〔小数第1位まで記入し、小数第2位を切り下げてください。〕					7月1日現在の保有の有無		過去1年間の出漁日数	販売金額が最も多かった漁業種類
						保有している	保有していない		
	①					②		③	④
	万	千	百	十(トン)	小数点	いずれかに○印		(日)	全国漁業種類番号を記入
401					.	1	2		1
402					.	1	2		1
403					.	1	2		1
404					.	1	2		1
405					.	1	2		1
406					.	1	2		1
407					.	1	2		1
408					.	1	2		1
409					.	1	2		1
410					.	1	2		1

借りている漁船は含みません。貸している漁船は含みます。

5ページの「全国漁業種類番号」で当てはまる番号を記入してください。

※ 出漁日数の数え方

- ・ 1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・ 2夜以上にわたる場合は、出港日から入港日までの日数とします。
- ・ なお、遊漁船業は含みません。

Ⅲ 漁業経営について

1 営んだ漁業種類

(1) 過去 1 年間に自家漁業で行った、すべての漁業種類について○をつけてください。

《 網 漁 業 》

全国漁業種類番号

す営
べんだ
にもの
○印

底 び き 網	遠 洋 底 び き 網		101	
	以 西 底 び き 網		102	
	沖 合 底 び き 網 1 そ う び き		103	
	沖 合 底 び き 網 2 そ う び き		104	
	小 型 底 び き 網		105	
船 び き 網			106	
ま き 網	大 中 型 ま き 網	1 そうまき遠洋 かつお・まぐろ	107	
		1 そうまき近海 かつお・まぐろ	108	
		1 そ う ま き そ の 他	109	
		2 そ う ま き	110	
	中 ・ 小 型 ま き 網		111	
刺 網	さけ・ます流し網		112	
	かじき等流し網		113	
	その他の刺し網		114	
さ ん ま 棒 受 網			115	
大 型 定 置 網			116	
さ け 定 置 網			117	
小 型 定 置 網			118	
そ の 他 の 網 漁 業			119	

《 はえ縄・釣り
・その他漁業 》

全国漁業種類番号

す當
べんだも
に○印の

はえ縄	遠洋まぐろはえ縄	120	
	近海まぐろはえ縄	121	
	沿岸まぐろはえ縄	122	
	その他のはえ縄	123	
釣	遠洋かつお一本釣	124	
	近海かつお一本釣	125	
	沿岸かつお一本釣	126	
	遠 洋 い か 釣	127	
	近 海 い か 釣	128	
	沿 岸 い か 釣	129	
	ひ き 縄 釣	130	
	そ の 他 の 釣	131	
小 型 捕 鯨		132	
潜 水 器 漁 業		133	
採 貝 ・ 採 藻		134	
そ の 他 の 漁 業		135	

《海面養殖》
(種苗養殖含む)

全国漁業種類番号

す営
べてんだも
に○の
印

魚類	ぎんざけ養殖	136	
	ぶり類養殖	137	
	まだい養殖	138	
	ひらめ養殖	139	
	とらふぐ養殖	140	
養殖新規	くろまぐろ養殖 変更(まぐろ類養殖)	141	
	にじます養殖	142	
	その他の魚類養殖	143	
	ほたてがい養殖	144	
	かき類養殖	145	
	その他の貝類養殖	146	
	くるまえば養殖	147	
	ほや類養殖	148	
	その他の水産動物類養殖	149	
	こんぶ類養殖	150	
	わかめ類養殖	151	
	のり類養殖	152	
	その他の海藻類養殖	153	
	真珠養殖	154	
	真珠母貝養殖	155	

4 ページの「3 動力漁船」については、本ページの「全国漁業種類番号」を使用してください。

(2) 過去 1 年間に行ったすべての漁業種類のうち、販売金額が最も多かったものと、2 番目に多かったものを上記 (1) の全国漁業種類番号 101 ~ 155 から選んで記入してください。

年間販売金額第1位の類	161		
-------------	-----	--	--

年 間 販 売 金 額 第 2 位 の 類	162		
-----------------------	-----	--	--

3 地方選定漁業種類について

過去1年間で地方選定漁業種類の漁業を行った場合、自家漁業で行ったすべての漁業種類について○をつけてください。

地方選定漁業種類		に該 ○印	地方選定漁業種類		に該 ○印	地方選定漁業種類		に該 ○印
種 類 名	番 号		種 類 名	番 号		種 類 名	番 号	

4 過去1年間の漁獲物・収穫物の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

養殖を行っていない場合は、「うち、海面養殖」の販売金額なしを○で囲んでください。

販売金額なし	100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～800万円未満	800万円～1,000万円未満	1,000万円～1,500万円未満	1,500万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円～2億円未満	2億円～5億円未満	5億円～10億円未満	10億円以上

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。
単位：億円

販売金額	581	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	→ 583
うち、海面養殖	582	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	→ 584

新規

5 過去1年間のすべての漁獲物・収穫物の出荷先を○で囲んでください。
そのうち、出荷額の最も多かった出荷先一つを○で囲んでください。

出荷先	番 号	漁業協同組合の市場又は荷さばき所	漁業協同組合以外の卸売市場	流通業者・加工業者	小売業者	生協	直売所	自家販売	自家店舗	うち、漁家レストラン	その他
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
出荷先	591										
最も多い出荷先	592										

「会社」以外の方の調査は以上で終わりですが、記入者名と連絡先を次ページに記入願います。

新規

会-II 支所・支社も含めた会社全体について

1 支所・支社も含めた会社全体の従業者数

単位：人

計	803								
常時従業者	804								
その他	805								

2 資本金

当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

（株式会社については払込済み資本金の金額、その他については出資金の金額で当てはまる番号を○で囲んでください。）

	100万円未満	100万円未満 100万円未満	200万円未満 200万円未満	500万円未満 500万円未満	1,000万円未満 1,000万円未満	3,000万円未満 3,000万円未満	5,000万円未満 5,000万円未満	1億円未満 1億円未満	10億円以上
806	1	2	3	4	5	6	7	8	9

3 漁業の専業・兼業

- (1) 過去1年間に行った事業が漁業のみの場合は「2」、他の事業も行った場合は「1」を○で囲んでください。

807	兼業	専業
	1	2

「専業」で本所・本社の場合は「4 事業別の子会社数」へ進んでください。なお、漁業専業で単独事業所の場合はここで終わります。

- (2) 過去1年間の総販売金額に占める漁業部門の割合について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	25%未満	25～	50～	75%以上
805	1	2	3	4

- (3) 過去1年間に漁業以外に行ったすべての事業の事業所の数を記入してください。そのうち、販売金額が最も多かったものを○で囲んでください。

			事業所の数	販売金額が最も多かったものに○印
製造業	水産加工業	811		1
	その他	812		2
卸売・小売業、飲食業		813		3
サービス業		814		4
その他	冷蔵倉庫業	815		5
	その他	816		6

- (4) 自社用の冷凍・冷蔵工場数を記入してください。（寄託品を取り扱わない自社用の水産物を保存する冷凍・冷蔵工場数）

単位：工場

817	
-----	--

4 事業別の子会社数

事業別に子会社数を記入してください。

単位：会社

漁業		821	
製造業	水産加工業	822	
	その他	823	
卸売・小売業、飲食業		824	
サービス業		825	
その他	冷蔵倉庫業	826	
	その他	827	

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：

電話番号：

調査は以上で終わります。
ご協力ありがとうございました。

2018年漁業センサス試行調査

海面漁業調査

海面漁業地域調査票（案）

平成29年7月1日調査



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、来年11月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「海面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、過去1年間で記入する箇所と、過去5年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。過去5年間の場合は、平成24年1月1日から平成28年12月31日までの5年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

《地方農政局等連絡先》

月 日（ ）までに
該当する箇所を記入の上、返信用封筒にて調査票の返信をお願いします。

調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。

変更（郵送及びオンラインへ対応）

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (振興局)	市区町村	客体番号	市区町村名	客体名

I 生産条件

1 漁場環境の変化

- (1) 漁業協同組合の管轄区域内における過去5年間（平成24年1月1日～平成28年12月31日）の漁業権の放棄面積について、年次別（暦年）に記入してください。

漁業権の放棄がない場合は、次ページの「2 遊漁の状況」に進んでください。

単位：㎡

平成24年	101							
平成25年	102							
平成26年	103							
平成27年	104							
平成28年	105							

- (2) 上記の漁業権放棄の原因について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。
また、そのうち、主な原因について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

		埋め立て					その他
		港湾・漁港の建設	道路建設	宅地造成	工業用地造成	その他	
原因	111	1	2	3	4	5	6
主な原因	112	1	2	3	4	5	6

2 遊漁の状況

- (1) 過去1年間（平成28年7月1日～平成29年6月30日）の漁業協同組合の管轄区域内における漁業協同組合と遊漁関係団体と連携している取組の有無について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	取組あり	取組なし
121	1	2

「取組なし」の場合は、Ⅱへ進んでください。

「取組あり」の場合は、(2)にもお答えください。

- (2) 取組の具体的な内容について、当てはまる番号すべて○で囲んでください。
（漁業協同組合単独の取組は除きます。）

資源保護				資源増殖		環境保全				その他	
体長規制	禁止区域の設定	採捕時期等の規制	その他の	稚魚等の放流	その他の	海岸清掃	藻場・干潟の造成・管理	漁場清掃	その他の		
131	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

「その他」の場合は、具体的に記入してください。

Ⅱ 活性化の取組

- 1 過去1年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体的に実施した場合については、それぞれに同じ人数を記入してください。

		単位：人				
		本 年 値				
		前 回 値（平成25年）				
漁 業 体 験	151					
魚 食 普 及 活 動	152					
そ の 他	153					

追加

- 2 漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去1年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

		単位：施設		単位：人				
		施 設 数		年 間 利 用 者 数				
		本年値	前 回 値 (平成25年)	本 年 値				
				前 回 値（平成25年）				
水産物直売所	161					0	0	

追加

追加

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：

電話番号：

調査は以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。

2018年漁業センサス試行調査

内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅰ（案）

（個人経営体用）

平成29年7月1日調査



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

この調査票は、来年11月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

【統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。
---	--

《地方農政局等連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県 (振興局)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	対象番号	湖沼番号
市区町村名		漁業地域名	湖沼名			

調査員がチェックをつけた該当ページについて、ご記入ください。 **変更（分かりやすいページ案内）**

- | | | |
|--------------------------|--------------------|------------|
| ☐ | 「湖沼漁業」を行っている方 | 2～5ページ |
| ☐ | 「養殖業」を行っている方 | 2～3、6～8ページ |
| ☐ | 「湖沼漁業」「養殖業」を行っている方 | 2～8ページ |

I 世帯について

1 世帯員すべての人数

7月1日現在の世帯員の人数を記入してください。

単位：人

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

		すべての世帯員		うち、満15歳以上の世帯員	
男	701				
女	702				

変更（満14歳以下）

2 世帯としての専業・兼業

(1) 当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

711	自家漁業専業	兼業	
		自家漁業が主	他が主
	1	2	3

兼業の場合

兼業の場合は、過去1年間（平成28年7月1日～平成29年6月30日）の収入が多い方を「主」としてください。

3 世帯員について

満15歳以上の世帯員（平成14年6月30日までに生まれた人）について記入してください。

変更（過去1年間に漁業を行った人）

続柄番号

- 01：経営主
- 02：経営主の配偶者
- 03：子（満15歳以上）
- 04：子の配偶者
- 05：経営主の父母
- 06：経営主の配偶者の父母
- 07：兄弟姉妹
- 08：祖父母
- 09：孫（15歳以上）
- 10：孫の配偶者
- 11：その他（上記以外）

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意思決定を行う人です。

	経営主との続柄	性別 男 女	出生の年月						過去1年間の状況		
			該当する元号の番号に○印をつけ、出生年月を記入してください。						湖沼漁業	うち、湖上作業	養殖業
			① 続柄番号を記入	② いずれかに○印	③ 明 治 大 正 昭 和 平 成 年 月	④ 当てはまる人に○印					
731	0 1	1 2	1 2 3 4					1 2 3			
732		1 2	1 2 3 4					1 2 3			
733		1 2	1 2 3 4					1 2 3			
734		1 2	1 2 3 4					1 2 3			
735		1 2	1 2 3 4					1 2 3			
736		1 2	1 2 3 4					1 2 3			
737		1 2	1 2 3 4					1 2 3			
738		1 2	1 2 3 4					1 2 3			

変更（年齢階層別）

変更（うち、陸上作業）

削除

(漁業以外の仕事(自営業・勤め))

(2) 自営業で民宿を行っている場合は、過去1年間の延べ利用者数を記入してください。

単位：人

民 宿	712				
-----	-----	--	--	--	--

過去1年間の状況

2 自家漁業以外の自営業	3 共同経営の漁業の仕事	4 雇われて漁業の仕事	5 雇われて漁業以外の仕事	6 その他 (家事・育児・学生・高齢や病気で仕事をしなかったなど)	左の1～5に該当する人で		12 作業日数 自家の湖沼漁業と内水面養殖業の作業日数	13 過去1年以内に漁業を始めた人	14 経営主とともに経営方針の決定に関わっている	15 経営の後継者である(予定者を含む)	
					日数が最も多い仕事	日数が多い方					
						自家漁業(1)					他の仕事(2～5の計)
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	
当てはまる人に○印					下の当てはまる番号を記入	いずれかに○印	(日)		当てはまる人に○印	一人に○印	
						1 2					
						1 2					
						1 2					
						1 2					
						1 2					
						1 2					
						1 2					
						1 2					
						1 2					
					新規	1 2			新規		

※過去1年間でいずれかの決定に参画した方(経営主を除く)に記入してください。
 ○出荷先の決定
 ○資金調達
 ○機械・施設などへの投資
 ○雇用の決定・管理
 ○養殖種類

後継者とは、将来自家漁業の経営主になる予定の人をいいます。
 調査日現在で自家漁業を行っていないかまいません。

世帯内に後継者がいない場合

4 世帯から離れて住んでいる漁業経営の後継者(満15歳以上)がいますか。

い	い
る	ない

721	1 2
-----	-------

変更(湖上作業と内水面養殖作業日数)

変更(自家漁業の後継者の有無)

⑩日数が最も多い仕事

- 1 : 自家漁業
- 2 : 自家漁業以外の自営業
- 3 : 共同経営の漁業の仕事
- 4 : 雇われて漁業の仕事
- 5 : 雇われて漁業以外の仕事

※作業日数の数え方

- ・1日のうちに2回以上出漁しても1日と数えます。
- ・1日のうち湖沼漁業と養殖業の両方の作業を行っても1日と数えます。
- ・なお、海面及び河川の漁業は含みません。

湖沼において漁業（採捕又は養殖業）を行った場合は、このページから記入してください。

Ⅱ 湖沼漁業

1 過去1年間（平成28年7月1日から平成29年6月30日）の雇用者

(1) 湖沼漁業（湖上作業及び陸上作業）に雇った人数を記入してください。

(2) (1)の雇用者うち、湖上作業に雇った人数を記入してください。

		男		女	
		実人数(人)		実人数(人)	
雇用者	202				
うち、臨時労働者	203				

新規

雇用者とは、漁業のために雇った人で、賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人をいいます。
 なお、ここでは2ページの世帯員を除いた「雇った人数」を記入してください。

臨時労働者とは、雇用者のうち、雇用契約期間が1ヶ月未満の人をいいます。

		男		女	
		実人数(人)		実人数(人)	
計	205				
15～19歳	206				
20～24歳	207				
25～29歳	208				
30～34歳	209				
35～39歳	210				
40～44歳	211				
45～49歳	212				
50～54歳	213				
55～59歳	214				
60～64歳	215				
65～69歳	216				
70～74歳	217				
75歳以上	218				

2 家として、過去1年間（平成28年7月1日から平成29年6月30日）に湖沼漁業を行った日数を記入してください。

変更（湖上作業）単位：日

231			
-----	--	--	--

家として、湖沼漁業を行った日数の数え方

- 1人の世帯員が湖沼漁業（湖上作業及び陸上作業）の作業を行った場合は、その日数を記入します。
- 1日のうちに、2人以上の世帯員が一緒又は別々に湖沼漁業の作業を行っても1日と数えます。

3 漁船

(1) 過去1年間に使用した漁船について、当てはまるものすべてに○印を記入してください。

また、使用した漁船のうち、7月1日現在で持っている隻数を記入してください。

		過去1年間に使用した漁船に	7月1日現在で持っている隻数
借りた船は含めて、貸した船は除きます。			
無動力漁船	241		
船外機付漁船	242		
動力漁船	243		
漁船非使用	244		

(2) 使用した動力漁船の合計トン数を記入してください。

（小数第1位まで記入し、小数第2位を切り捨ててください。）

245			
-----	--	--	--

単位：トン

↑
小数点

4 漁業種類

過去1年間に湖沼漁業において行った、すべての漁業種類に○印を記入してください。
そのうち、全国共通漁業種類において、販売金額が最も多かった漁業種類の番号一つに○印を記入してください。

				営んだもの すべてに○印	販売金額 1位に○印				営んだもの すべてに○印
全国 共通 漁業 種類	網漁業	底びき網・船びき網	251		1	地方 選 定 漁 業 種 類			
		刺網	252		2				
		定置網	253		3				
		投網	254		4				
		その他の網漁業	255		5				
	その他の漁業	釣・はえ縄	256		6				
		採貝・採藻	257		7				
		籠類	258		8				
		その他の漁業	259		9				
	養殖業	魚類養殖	260		10				
		その他の養殖	261		11				

5 魚種

過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収穫物を含む。）したすべてのものに○印を記入してください。
そのうち、全国共通魚種において、販売金額が最も多かった魚種の番号一つに○印を記入してください。

				該当する すべてに○印	販売金額 1位に○印				該当する すべてに○印
全国 共通 魚 種	魚類	こい	271		1	地方 選 定 魚 種			
		ふな	272		2				
		あゆ	273		3				
		うぐい・おいかわ	274		4				
		わかさぎ	275		5				
		さけ・ます類	276		6				
		しらうお	277		7				
		うなぎ	278		8				
		はぜ類	279		9				
		その他の魚類	280		10				
	貝類	しじみ	281		11				
		その他の貝類	282		12				
	水産動物類	えび類	283		13				
		あみ類	284		14				
		その他の水産動物類	285		15				
	その他	286			16				

6 過去1年間の漁獲物（湖沼養殖の収穫物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	10万円未満	10万円～30万円未満	30万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上
291	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

「1億円以上」の場合は、金額も記入してください。

単位：億円

292

新規

湖沼及びその他の内水面において、養殖業を行った方は、次のページへ養殖業を行っていない方は、8ページにお問い合わせ先をご記入ください。

養殖業を行った場合は、記入してください。

Ⅲ 内水面養殖業

1 過去1年間（平成28年7月1日から平成29年6月30日）の養殖業に雇った人数を記入してください。

		男	女			男	女
		実人数(人)	実人数(人)			実人数(人)	実人数(人)
雇用者	302			→	15～19歳	305	
うち、臨時労働者	303				20～24歳	306	
					25～29歳	307	
					30～34歳	308	
					35～39歳	309	
					40～44歳	310	
					45～49歳	311	
					50～54歳	312	
					55～59歳	313	
					60～64歳	314	
					65～69歳	315	
					70～74歳	316	
					75歳以上	317	

新規

雇用者とは、漁業のために雇った人で、賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人をいいます。
 なお、ここでは**2ページの世帯員を除いた「雇った人数」**を記入してください。

臨時労働者とは、雇用者のうち、雇用契約期間が1ヶ月未満の人をいいます。

2 養殖方法

過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。
 そのうち、販売金額が最も多かったものの番号一つに○を記入してください。

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

			養殖池数 (網いけす数、養殖池の区画数) 単位：面	養殖面積 単位：㎡	販売金額 が最も多かったもの の一つに ○印
池中養殖	止水式	321			1
	流水式	322			2
	循環式	323			3
ため池養殖		324			4
網いけす養殖		325			5
その他養殖		326			6

3 養殖種類

- (1) 過去1年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
そのうち、販売金額が最も多かったものの番号一つに○を付けてください。

施設面積

所有（借入を含む。）するすべての施設面積

使用面積

通常使用している面積（魚類を放養していない施設は除く。）

単位：㎡

食用のにじますとぎんざけについては、淡水養殖、海水養殖合わせて販売金額1位の場合○をつけてください。

				施設面積					使用面積					販売金額 1位に○印
食	にじます	淡水養殖	331											1
		海水養殖	332											
	ぎんざけ	淡水養殖	333											2
		海水養殖	334											
	その他ます類		335											3
	あゆ		336											4
	こい		337											5
	ふな		338											6
	うなぎ		339											7
	すっぽん		340											8
用	海面魚種（ひらめ等）		341											9
	その他		342											10
種	にじます	343												11
		344												12
	その他ます類		345											13
	あゆ	346												14
		347												15
	こい		348											16
	その他		349											17
	錦ごい		350											18
	きんぎょ		351											19
	真珠		351											19

- (2) 過去1年間に行った、すべての養殖種類について○印を記入してください。

地方選定養殖種類名	地方選定養殖種類番号	該当するすべてに○印

- 4 過去1年間の収穫物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

販売金額なし	10万円未満	10万円30万円未満	30万円50万円未満	50万円100万円未満	100万円300万円未満	300万円500万円未満	500万円1,000万円未満	1,000万円2,000万円未満	2,000万円5,000万円未満	5,000万円1億円未満	1億円以上	
361	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

「1億円以上」の場合は、
金額も記入してください。

↓ 単位：億円

362			
-----	--	--	--

新規

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、記入された方の
氏名と電話番号の記入をお願いします。

氏名：

電話番号：

調査は以上で終わります。

ご協力ありがとうございました。

2018年漁業センサス試行調査

内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅰ（案） （個人経営体用）

平成29年7月1日調査



政府統計
統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、来年11月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

《地方農政局等連絡先》

月 日（ ）までに
該当する箇所を記入の上、返信用封筒にて調査票の返信をお願いします。

変更（郵送調査へ対応）

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県 (振興局)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	対象番号	湖沼番号

市区町村名

漁業地域名

湖沼名

 削除

該当するページについて、ご記入ください。

変更（分かりやすいページ案内）

- ☐ 「湖沼漁業」を行っている方・・・・・・・・・・2～5ページ
- ☐ 「養殖業」を行っている方・・・・・・・・・・2～3、6～8ページ
- ☐ 「湖沼漁業」「養殖業」を行っている方・・・・・・・・・・2～8ページ

2018年漁業センサス試行調査

内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅱ（案）

（団体経営体用）

平成29年7月1日調査



政府統計
統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、来年11月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

【統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。
---	--

《地方農政局等連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県 (振興局)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	対象番号	湖沼番号

組織区分

- 2：会社
- 3：漁業協同組合
- 4：漁業生産組合
- 5：共同経営
- 6：その他

市区町村名

漁業地域名

湖沼名

調査員がチェックをつけた該当ページについて、ご記入ください **変更（分かりやすいページ案内）**

- ☐ 「湖沼漁業」を行っている方・・・・・・・・・・ 2～3 ページ
- ☐ 「養殖業」を行っている方・・・・・・・・・・ 4～6 ページ
- ☐ 「湖沼漁業」「養殖業」を行っている方・・・・・・・・・・ 2～6 ページ

湖沼において漁業（採捕又は養殖業）を行った場合は、このページから記入してください。

I 湖沼漁業

1 過去1年間（平成28年7月1日から平成29年6月30日）の従事者

(1) 湖沼漁業（湖上作業及び陸上作業）に従事した人数を記入してください。

(2) (1)の湖沼漁業従事者計のうち、湖上作業に従事した人数を記入してください。

		男	女
		実人数(人)	実人数(人)
経営者・役員等 ①	201		
雇用者 ②	202		
①うち、臨時労働者	203		
湖沼漁業従事者計 (①+②)	204		

		男	女
		実人数(人)	実人数(人)
計	205		
15～19歳	206		
20～24歳	207		
25～29歳	208		
30～34歳	209		
35～39歳	210		
40～44歳	211		
45～49歳	212		
50～54歳	213		
55～59歳	214		
60～64歳	215		
65～69歳	216		
70～74歳	217		
75歳以上	218		

新規

経営者・役員等とは、会社等における経営の責任者や役員、漁業生産組合や共同経営における構成員等のうち、過去1年間に漁業に従事した方をいいます。
漁業経営に出資のみを行い、実際の仕事に従事しなかった者は含めません。

雇用者とは、漁業のために雇った人で、賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人をいいます。

臨時労働者とは、雇用者のうち、雇用契約期間が1ヶ月未満の人をいいます。

2 過去1年間（平成28年7月1日から平成29年6月30日）に湖沼漁業を行った日数を記入してください。

変更（湖上作業）

単位：日

231	
-----	--

3 漁船

(1) 過去1年間に使用した漁船について、当てはまるものすべてに○印を記入してください。

また、使用した漁船のうち、7月1日現在で持っている隻数を記入してください。

借りた船は含めて、貸した船は除きます。

		過去1年間に使用した漁船	7月1日現在で持っている隻数
無動力漁船	241		
船外機付漁船	242		
動力漁船	243		
漁船非使用	244		

(2) 使用した動力漁船の合計トン数を記入してください。

（小数第1位まで記入し、小数第2位を切り捨ててください。）

245	
-----	--

単位：トン

小数点

4 漁業種類

過去1年間に湖沼漁業において行った、すべての漁業種類に○印を記入してください。

そのうち、全国共通漁業種類において、販売金額が最も多かった漁業種類の番号一つに○印を記入してください。

				営んだもの すべてに○印	販売金額 1位に○印
全 国 共 通 漁 業 種 類	網 漁 業	底びき網・船びき網	251		1
		刺網	252		2
		定置網	253		3
		投網	254		4
		その他の網漁業	255		5
	その他の漁業	釣・はえ縄	256		6
		採貝・採藻	257		7
		籠類	258		8
		その他の漁業	259		9
	養殖業	魚類養殖	260		10
		その他の養殖	261		11

地 方 選 定 漁 業 種 類			営んだもの すべてに○印

5 魚種

過去1年間に漁獲（湖沼養殖の収獲物を含む。）したすべてのものに○印を記入してください。

そのうち、全国共通魚種において、販売金額が最も多かった魚種の番号一つに○印を記入してください。

ください。				該当する すべてに○印	販売金額 1位に○印			
全 国 共 通 魚 種	魚	こ	い	271		1		
		ふ	な	272		2		
		あ	ゆ	273		3		
		う ぐ い ・ お い か わ	274		4			
		わ か さ ぎ	275		5			
		さ け ・ ま す 類	276		6			
		し ら う お	277		7			
		う な ぎ	278		8			
		は ぜ 類	279		9			
		そ の 他 の 魚 類	280		10			
	貝 類	し	じ	み	281		11	
		そ の 他 の 貝 類	282		12			
		水産動物類	え	び	類	283		13
			あ	み	類	284		14
			そ の 他 の 水 産 動 物 類	285		15		
			そ	の	他	286		16

地 方 選 定 魚 種			該当する すべてに○印

6 過去1年間の漁獲物（湖沼養殖の収獲物を含む。）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	販売金額なし	10万円未満	10万円～30万円未満	30万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円～300万円未満	300万円～500万円未満	500万円～1,000万円未満	1,000万円～2,000万円未満	2,000万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億円以上
291	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

「1億円以上」の場合は、金額も記入してください。

単位：億円

292

新規

湖沼及びその他の内水面において、
養殖業を行った方は、次のページへ
養殖業を行っていない方は、6ページの法人番号についてへ

養殖業を行った場合は、記入してください。

Ⅱ 内水面養殖業

1 過去1年間（平成28年7月1日から平成29年6月30日）に養殖業に従事した人数を記入してください。

		男	女
		実人数(人)	実人数(人)
経営者・役員等 ①	301		
雇用者 ②	302		
①うち、臨時労働者	303		
養殖業従事者計 (①+②)	304		

養殖業従事者計について、記入してください。

		男	女
		実人数(人)	実人数(人)
15～19歳	305		
20～24歳	306		
25～29歳	307		
30～34歳	308		
35～39歳	309		
40～44歳	310		
45～49歳	311		
50～54歳	312		
55～59歳	313		
60～64歳	314		
65～69歳	315		
70～74歳	316		
75歳以上	317		

新規

経営者・役員等とは、会社等における経営の責任者や役員、漁業生産組合や共同経営における構成員等のうち、過去1年間に漁業に従事した方をいいます。
漁業経営に出資のみを行い、実際の仕事に従事しなかった者は含めません。

雇用者とは、漁業のために雇った人で、賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人をいいます。

臨時労働者とは、雇用者のうち、雇用契約期間が1ヶ月未満の人をいいます。

2 養殖方法

過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。
そのうち、販売金額が最も多かったものの番号一つに○印を記入してください。

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

			養殖池数 (網いけす数、養殖池の区画数) 単位：面	養殖面積 単位：㎡	販売金額が最も多かったもの一つに○印
池中養殖	止水式	321			1
	流水式	322			2
	循環式	323			3
ため池養殖		324			4
網いけす養殖		325			5
その他養殖		326			6

3 養殖種類

- (1) 過去1年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。
そのうち、販売金額が最も多かったものの番号一つに○を付けてください。
- 食用のにじますとぎんざけについては、淡水養殖、海水養殖合わせて販売金額1位の場合○をつけてください。
-

施設面積
所有（借入を含む。）するすべての施設面積

使用面積
通常使用している面積（魚類を放養していない施設は除く。）

単位：㎡

				施設面積				使用面積				販売金額 1位に○印
食	にじます	淡水養殖	331									1
		海水養殖	332									
	ぎんざけ	淡水養殖	333									2
		海水養殖	334									
	その他ます類		335									3
	あゆ		336									4
	こい		337									5
	ふな		338									6
	うなぎ		339									7
	すっぽん		340									8
用	海面魚種（ひらめ等）		341									9
	その他		342									10
種	にじます		343									11
	ぎんざけ		344									12
苗	その他ます類		345									13
	あゆ		346									14
	こい		347									15
	その他		348									16
観賞用	錦ごい		349									17
	きんぎょ		350									18
真	珠		351									19

- (2) 過去1年間に行った、すべての養殖種類について○印を記入してください。

地方選定養殖種類名	地方選定養殖種類番号	該当するすべてに○印

- 4 過去1年間の収獲物（養殖業）の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

販売金額なし	10万円未満	10万円未満	30万円未満	50万円未満	100万円未満	300万円未満	500万円未満	1,000万円未満	2,000万円未満	5,000万円未満	1億円以上	
361	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

「1億円以上」の場合は、金額も記入してください。

単位：億円

362				
-----	--	--	--	--

新規

【法人番号について】

- 1 法人化していますか。該当に☑を入れてください。

法人でない ☐

法人である ☐

- 2 法人の方は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

新規

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

氏名：

電話番号：

調査は以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

2018年漁業センサス試行調査

内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅱ（案） （団体経営体用）

平成29年7月1日調査



政府統計
統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、来年11月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅱ（団体経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

《地方農政局等連絡先》

月 日（ ）までに
該当する箇所を記入の上、返信用封筒にて調査票の返信をお願いします。

変更（郵送調査へ対応）

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県 (振興局)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	対象番号	湖沼番号

市区町村名

漁業地域名

湖沼名

組織区分

- 2：会社
- 3：漁業協同組合
- 4：漁業生産組合
- 5：共同経営
- 6：その他

削除

該当するページについて、ご記入ください。

変更（分かりやすいページ案内）

- ☐ 「湖沼漁業」を行っている方・・・・・・・・・・ 2～3 ページ
- ☐ 「養殖業」を行っている方・・・・・・・・・・ 4～6 ページ
- ☐ 「湖沼漁業」「養殖業」を行っている方・・・・・・・・ 2～6 ページ

2018年漁業センサス試行調査

内水面漁業調査

内水面漁業地域調査票(案)

平成29年7月1日調査



政府統計

統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、来年11月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

《地方農政局等連絡先》

月 日（ ）までに
該当する箇所を記入の上、返信用封筒にて調査票の返信をお願いします。

調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。

変更（郵送及びオンラインへ対応）

〔事務処理欄〕

区分コード

都府県
(振興局)

市区町村

水系

小水系

客体番号

漁協種類コード

- 1：河川
- 2：湖沼
- 3：養殖

市区町村名

水系名

小水系名

客体名

追加

その他の項目については、1枚にまとめて記入してください。

(3) 過去1年間に漁業協同組合の生産した種苗の種類について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

放流等のために行う中間育成や蓄養は除きます。

	さ け ・ ま す 類								あ	こ	ふ	そ
	さ く 河 性			陸 封 性								
	し ろ ざ け	さ く ら ま す	そ の 他	に じ ま す	あ ま ご	や ま め	い わ な	そ の 他				
131	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(4) 過去1年間に漁業協同組合の放流したものについて、数量を記入してください。

単位：尾

さ け ・ ま す 類	さ く 河 性	し ろ ざ け	141	本 年 値				前 回 値 (平成25年)			
		さ く ら ま す	142								
		そ の 他	143								
	陸 封 性	に じ ま す	144								
		あ ま ご	145								
		や ま め	146								
		い わ な	147								
		そ の 他	148								
	あ ゆ		149								
こ い			150								
ふ な			151								
う な ぎ			152								
そ の 他 の 魚 類			153								

単位：粒

わ か さ ぎ 卵		154									
そ の 他 の 卵		155									

単位：kg

貝 類		156									
-----	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

追加

-3-
41

2 遊漁の状況

(1) 過去1年間に漁業協同組合の遊漁承認証の発行枚数について記入してください。

遊漁承認証の対象魚種が複数魚種の場合は、それぞれの対象魚種に記入してください。
(例) あゆ、やまめ及びこいの複数魚種を対象とした遊漁承認証を過去1年間に100枚発行した場合は、あゆ欄に100枚、ます類欄に100枚、こい・ふな類欄に100枚とそれぞれに記入してください。

				単位：枚			
				本 年 値			
				前回値（平成25年）			
遊 漁 承 認 証	ま す 類	年 間	171				
		漁 期 間	172				
		1 日	173				
	あ ゆ	年 間	174				
		漁 期 間	175				
		1 日	176				
	こ い・ふな類	年 間	177				
		漁 期 間	178				
		1 日	179				
	わ か さ ぎ	年 間	180				
		漁 期 間	181				
		1 日	182				
	そ の 他	年 間	183				
		漁 期 間	184				
		1 日	185				

追加

(2) 過去1年間に漁業協同組合の遊漁者への啓発・普及活動の取組について当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	ポスター、 パンフレッ トの作成	講 習 会 の 催 開	そ の 他 の 啓 発 ・ 普 及 活 動
191	1	2	3

Ⅲ 活性化の取組

- 1 過去1年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

単位：人

漁業体験と魚食普及活動を一体で実施した場合については、それぞれ同じ人数を記入してください。

		参 加 人 数			
		本 年 値			
		前 回 値 (平成25年)			
漁 業 体 験	201				
魚 食 普 及 活 動	202				
そ の 他	203				

追加

- 2 漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去1年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

単位：施設

単位：人

		施 設 数		利 用 者 数	
		本 年 値	前 回 値 (平成25年)	本 年 値	前 回 値 (平成25年)
水 産 物 直 売 所	211				

追加

追加

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

氏名：

電話番号：

調査は以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

2018年漁業センサス試行調査
流通加工調査

魚市場調査票(案)

平成29年7月1日調査



政府統計
統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、再来年1月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「魚市場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間について記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

《地方農政局等連絡先》

月 日 () までに
該当する箇所を記入の上、返信用封筒にて調査票の返信をお願いします。

調査票の記入及び提出は、オンラインでも可能です。

変更（郵送及びオンラインへ対応）

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県(振興局) 市区町村 漁業地区 客体番号

大海区	都府県(振興局)	市区町村	漁業地区	客体番号

市区町村名

漁業地区名

市場種類コード

- 1：中央
2：地方
3：その他

開設者コード

- 1：地方公共団体 4：会社
2：漁協 5：個人
3：漁連

事業所名

ここから記入してください

- 1 魚市場の中で水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を㎡単位で記入してください。

単位：㎡

101					
-----	--	--	--	--	--

2 7月1日現在の魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。

単位：業者

水産物卸売業者数	111				
水産物買受人数	112				

水産物買受人とは、水産物卸売業者から買い受ける仲卸業者及び売買参加者です。

魚市場内の複数の卸売業者に同一の買受人が登録している場合は、魚市場としての買受人数を記入し、重複させないでください。

3 魚市場における過去1年間（平成28年1月1日～12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額（消費税を含む。）を記入してください。

単位：トン

数	総数 ①+②	121							
	うち、活魚	122							
量	水揚量 ①	123							
	搬入量 ②	124							
	うち、輸入品	125							

数量は、過去1年間に魚市場へ上場された水産物（活魚、生鮮品、冷凍品及び加工品）の数量です。

また、第1次水揚量（内水面漁業、養殖業による生産品を含む。）のほか、他の漁業地域からの搬入量及び輸入品を含みます。

単位：円

金額	総額	126							0	0	0	0
	うち、活魚	127							0	0	0	0
	うち、輸入品	128							0	0	0	0

金額は、数量欄で記入した、魚市場に上場された数量に対応する総金額（消費税を含む。）を記入してください。

4 7月1日現在で、魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	海 水 殺 菌 装 置	砕 氷 ・ 製 氷 機	脱臭装置、排ガス処理装置	水 産 加 工 機 器	そ の 他
131	1	2	3	4	5

海水殺菌装置とは、海水の殺菌・減菌を目的とした装置。

破氷、製氷機とは、氷がけ等、魚市場内で使用する氷を製造するための装置。

出荷用保冷車や漁船の船艙に積むための氷のみを製造する目的の装置は含めません。

脱臭装置、排ガス処理装置とは、建物内の空気の清浄を目的とした装置。

水産加工機器とは、フィレマシーン、包装機などの水産物の一次加工、パック作業等を自動で行うための装置。

その他には、上記以外で、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器。

1 法人化していますか。該当に☑印を入れてください。

法人でない ☐ 法人である ☐

2 法人の方は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者： 電話番号：

調査は以上で終わりです。

ご協力ありがとうございました。

2018年漁業センサス試行調査
流通加工調査



冷凍・冷蔵、水産加工場調査票(案)

平成29年7月1日調査

政府統計
統計法に基づく国の
統計調査です。調査
票情報の秘密の保護
に万全を期します。

この調査票は、再来年1月に予定している2018年漁業センサスの実施に向けて、調査実施上の課題等を明らかにするためのもので、それ以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありませんので、ありのままを記入してください。

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成29年）の7月1日現在で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、平成28年7月1日から平成29年6月30日までの1年間について記入してください。

〔問い合わせ先〕

【統計調査員】 氏 名： 電話番号：	月 日（ ） 午前・午後 時ごろに 調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入をお願いします。
---	---

《地方農政局等連絡先》

〔事務処理欄〕

区分コード

事業所の形態コード

事業所の区分コード

- | | |
|--------------|-------------|
| 1：個人 | 1：冷凍・冷蔵工場のみ |
| 2：会社 | 2：水産加工場のみ |
| 3：漁協、漁連、生産組合 | 3：両方 |
| 4：水産加工組合、加工連 | |
| 5：その他の組合 | |
| 6：その他 | |

大海区 都府県(振興局) 市区町村 漁業地区 客体番号

- - - -

市区町村名

漁業地区名

事業所名

1 法人化していますか。該当に☑を入れてください。

法人でない ☐

法人である ☐ →

2 法人の方は、法人番号（13桁）の記入をお願いします。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

法人番号を活用した統計の精度向上及び効率化の取組に使用させていただきます。
個人のマイナンバー（12桁）を誤って記入しないようご注意ください。

新規

I 事業所の概要

1 過去1年間（平成28年7月1日～平成29年6月30日）に事業所で営んだ事業について当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

また、そのうち事業の収入が一番多かったものについて、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

冷蔵倉庫業とは、冷凍・冷蔵施設で寄託品の保管を行う事業で、倉庫業法（昭和31年法律第121号）に基づくものをいいます。

水産物卸売業とは、水産物を出荷者からの販売委託又は買い受けて卸売りする事業をいいます。

水産物仲卸（買）業とは、水産物を卸売業者から買い、小売店などに販売する事業をいいます。

水産物小売業とは、水産物仲卸（買）業者から水産物を買、消費者に販売する事業をいいます。

冷蔵倉庫業	水産加工業	漁業・養殖業	水産物卸売業	水産物仲卸（買）業	水産物小売業	その他
1	2	3	4	5	6	7
1	2	3	4	5	6	7

営んだ事業	101
主とする事業	102

2 過去1年間の事業所における従業者数を記入してください。

単位：人

		男				女			
計	111								
経営主・役員等	112								
雇 用 者	113								
うち、 臨時労働者	114								

役員等とは、常勤の役員等をいい、実際の仕事に従事していない人は含みません。

雇用者とは、賃金・給与（現物給与を含む）を支給されている人）及び出向・派遣受入者（他の会社等へ出向・派遣している者及び研修生は含まない。）をいいます。

臨時労働者とは、雇用契約期間が1か月未満の人、日々雇用されている人をいいます。

新規

3 7月1日現在の事業所における従業者数を記入してください。

単位：人

常 時 従 業 者	男	121				
	女	122				



うち、外国人	123				
--------	-----	--	--	--	--

単位：人

そ の 他	男	124				
	女	125				



うち、外国人	126				
--------	-----	--	--	--	--

従業者とは、以下の①～④のいずれかに該当する人をいいます。

- ① 個人事業主及び無給の家族従事者
- ② 常勤の役員
- ③ 雇用者（賃金・給与（現物給与を含む。）を支給されている人）
- ④ 出向・派遣受入者

なお、実務にたずさわらない事業主、他の会社等へ出向・派遣している者及び研修生は含みません。

常時従業者とは、上記の①及び②に加え、③又は④のうち、以下の⑤～⑦のいずれかに該当する人をいいます。

- ⑤ 期間を定めずに従事している人
- ⑥ 1か月を超える期間を定めて従事している人
- ⑦ 平成29年5月と6月にそれぞれ18日以上従事した人

その他とは、常時従業者以外の従業者をいいます。

例：1か月以内の期間を定めて雇用されている人、日々雇用されている人、など

なお、臨時雇用、日々雇用の場合でも、常時従業者の⑦に該当する場合は、常時従業者に含みます。

うち、外国人には、「常時従業者」及び「その他」のそれぞれに含まれている外国人の人数を記入してください。

なお、外国人研修・技能実習制度における雇用契約に基づく技能等習得活動及び取得した技能等を要する業務に従事している場合は従業者に含めますが、講習による知識習得活動期間中の者は従業者に含めません。

Ⅱ 冷凍・冷蔵工場

以下に該当する場合は、このページを記入してください。
該当しない場合は次のページへ進んでください。

主機10馬力（7.5kw）以上の冷凍・冷蔵施設を所有し、調査日前1年間（平成28年7月1日～平成29年6月30日）に水産物を低温保管した事業所又は水産物の凍結作業を行った事業所が対象です。

なお、冷蔵庫保管業の他、水産加工場が所有する主機10馬力（7.5kw）以上の自家用冷凍・冷蔵庫で、加工原料や製品を保管した場合も含めます。

1 事業所の冷凍・冷蔵庫の用途について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

営業用とは、倉庫業法に基づき営業許可を受けた冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、自営品のみを扱った工場であっても、倉庫業法に基づくものは含めます。
自家用とは、倉庫業法に基づかない冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、寄託品を扱っている工場であっても、倉庫業法に基づかないものは含めます。

	営業用	自家用
201	1	2

2 過去1年間に事業所の冷凍・冷蔵庫を利用した利用者について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

また、そのうち在庫量が一番多かった利用者について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

漁業協同組合等には、漁業協同組合の他、漁業生産組合及び漁業協同組合連合会を含めます。
漁業者には、個人の他、会社等の法人を含めます。
水産加工業協同組合等には、水産加工業協同組合の他、水産加工業協同組合連合会、その他の加工組合（事業協同組合、企業組合等）を含めます。
加工業者には、個人の他、会社等の法人を含めます。

		寄託品							自
		漁業協同組合等	漁業者	水産加工業協同組合等	加工業者	卸売業者	買受人	その他の	営品
利用者	211	1	2	3	4	5	6	7	8
主な利用者	212	1	2	3	4	5	6	7	8

3 事業所の冷凍・冷蔵庫の冷蔵能力（収容トン数）及び1日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。

		単位：トン			
冷蔵能力	221				

		単位：トン／日			
凍結能力	222				

（冷蔵能力の換算率） 1m³ = 0.4トン

Ⅲ 水産加工場

以下に該当する場合は、このページ以降を記入してください。
該当しない場合は、9ページの記入者及び電話番号を記入して
終わりです。

調査日前1年間（平成28年7月1日～平成29年6月30日）に、販売を目的として、
水産物を原料として加工製造を行った事業所の方が対象です。

なお、漁業を営む事業所・世帯であっても、加工製造のための作業場等を有し、か
つ専従の従事者を雇って加工製造を行っている場合も対象となります。

※ 水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された
食料加工品、飼肥料をはじめ、生鮮水産物を凍結した冷凍水産物のことです。

- 1 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量
をkg単位で記入してください。

単位：kg

			301					
			生 産 量					
ねり製品	かまぼこ類	①						
	魚肉ハム・ソーセージ類	②						
冷凍食品	魚介類	かに類	③					
		その他	④					
	水産物調理食品	⑤						
素干し品	するめ	⑥						
	いわし	⑦						
	その他	⑧						
塩干品	干しいわし	⑨						
	干しあじ	⑩						
	干しさんま	⑪						
	干しさば	⑫						
	干しかれい	⑬						
	干しほっけ	⑭						
	干しはたはた	⑮						
	その他	⑯						
煮干し品	煮干しいわし	⑰						
	しらす干し	⑱						
	煮干しいかなご・こうなご	⑲						
	干し貝柱	⑳						
	その他	㉑						
	塩蔵品	塩蔵いわし	㉒					
		塩蔵さば	㉓					
		塩蔵さけ・ます	㉔					
		塩蔵たら・すけとうだら	㉕					
		塩蔵さんま	㉖					
その他		㉗						
くん製品		㉘						
缶・びん詰		㉙						
寒 天		㉚						
油 脂		㉛						
飼 肥 料		㉜						

1 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。（つづき）

単位：kg

			301				
			生 産 量				
節 製 品	節 類	かつお節 (33)					
		かつおなまり節 (34)					
		さば節 (35)					
		その他 (36)					
	けずり節	かつおけずり節 (37)					
		その他 (38)					
その他の食用加工品	塩辛類	いか塩辛 (39)					
		その他 (40)					
	水産物漬物 (41)						
	調味料類	水つくこんぶつくだ煮 (42)					
		その他 (43)					
	加工品	乾燥揚げ・焙焼・加工品					
		いか製品 (44)					
		その他 (45)					
	品	その他の調味加工品 (46)					
		その他 (47)					
生鮮冷凍水産物	冷凍まぐろ類 (48)						
	冷凍かつお類 (49)						
	冷凍さけ・ます類 (50)						
	冷凍いわし類 (51)						
	冷凍まあじ・むろあじ類 (52)						
	冷凍さば類 (53)						

			301				
			生 産 量				
生鮮冷凍水産物（つづき）	冷凍さんま (54)						
	冷凍たら類	冷凍まだら (55)					
		冷凍すけとうだら (56)					
	冷凍ほっけ (57)						
	冷凍いかなご・こうなご (58)						
	冷凍はたはた (59)						
	新規 冷凍たい類 (60)						
	冷凍ほたてがい (61)						
	冷凍いか類 (62)						
	冷凍かに類 (63)						
	新規 冷凍かき類 (64)						
	その他冷凍魚類・冷凍水産物類 (65)						
	冷凍すり身	すけとうだら (66)					
		いわし・さば (67)					
		ほっけ (68)					
		その他 (69)					

単位：枚

焼・味付のり (70)							00
-------------	--	--	--	--	--	--	----

原料の板のりに換算した枚数を記入してください。

2 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、年間の販売金額が最も多かった種類を、上記1の番号①～⑦⑩から一つ選んで記入してください。

年間販売金額第1位の水産加工品の種類	311	
--------------------	-----	--

- 3 過去1年間の事業所における水産加工品の販売金額（消費税を含む。）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

100 万円 未 満	100 万円 未 満	500 万円 未 満	1,000 万円 未 満	5,000 万円 未 満	1 億円 未 満	5 億円 未 満	10 億円 以 上					
321	1	2	3	4	5	6	7	8	322			

新規

「10億円以上」の場合は、金額も記入してください。

単位：億円

水産加工品以外の製品を販売している場合は、事業所の総販売金額（消費税を含む。）のうち、水産加工品のみ販売金額（消費税を含む。）に該当する区分を○で囲んでください。

製造した水産加工品を自社の他事業所へ加工原料として提供した場合には、その分の金額は販売したものとして見積もってください。

- 4 過去1年間の事業所における水産加工品の出荷先について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください

小売業者はスーパー（量販店含む）や鮮魚商等へ出荷している場合をいいます。

流通業者（輸出除く）は、卸売問屋等に国内向けに出荷している場合をいいます。

自家販売は、自家店舗、通販、インターネット販売、行商などで販売している場合をいいます。

直売所は、直売所や道の駅など場所を借りて販売している場合をいいます。

漁協、加工協等の組合	加工業者	流通業者（輸出除く）	小売業者・生協	外食産業・給食業者等	卸売市場又は荷さばき所	自家販売・直売所	輸出	その他	
331	1	2	3	4	5	6	7	8	9

新規

5 過去1年間の事業所における原材料（水産動植物）の仕入れ状況について

- (1) 原材料に占める国産品の割合（重量ベース）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	すべて 国産	70 % 以上	50 % 70 % 未満	30 % 50 % 未満	30 % 未 満	すべて 輸入
341	1	2	3	4	5	6

1～5を選んだ方は(2)もお答えください。

- (2) 事業所における国産原材料の仕入先について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	漁 業 者	漁 業 協 同 組 合	そ の 他
342	1	2	3

漁業協同組合には、漁業協同組合が開設する魚市場から仕入れた場合を含めてください。

その他には、漁業を営む事業所・世帯において加工原料を自ら漁獲・収獲している場合、含めてください。

6 製品製造の工程管理内容について

変更 (HACCP手法)

- (1) 7月1日現在で、事業所におけるHACCPの導入状況について当てはまる番号を一つ○で囲んでください。(国や業界団体等による第三者認証の他、取引先による二者間認証やHACCPの導入について自己宣言している場合も含めます。)

変更 (HACCP手法)

	導入している	導入していない	導入を決定している
351	1	2	3

導入していないが導入を決定している場合は、3のみ○で囲んでください。

HACCP (ハサップ) とは、原材料の受入から最終製品までの各工程ごとに、微生物による汚染、金属の混入などの潜在的な危害を予測した上で、危害の発生防止につながる特に重要な工程を継続的に監視・記録することにより、製品の安全性を確保する工程管理システムをいいます。

1又は3を選んだ方は(2)もお答えください。

変更 (HACCP手法)

- (2) HACCPを導入している(導入を決定している。)理由について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	製品の 高付加 価値化 のため	事故等 のリス ク削減 のため	輸出先 の基準 を満た すため	その他
352	1	2	3	4

内容の問合せのみに使用させていただきますので、記入された方の氏名と電話番号の記入をお願いします。

記入者：

電話番号：

調査は以上で終わります。
ご協力ありがとうございました。